

PTAだより

校訓 主 志 考 へ る
ほ る
が ん ば る



編集 北海道寿都高等学校 PTA広報部



「新年度PTA開始にあたり」

PTA会長 宮 本 良 雄

全国的に早い春の足音にせかされ、北海道にもいつもより早い春が訪れようとしています。新入生の皆さん入学式から数日が過ぎましたがどうですか？保護者の皆様は様々な手続きの書類に悪戦苦闘しているものと思いますが、その手続きの全てが今後とも経済的な面で我々を支援してくれます。今や義務教育と変わらない程、寿都高校では国や道、町村の制度的な援助を受けられるようになりました。更に寿都高校では少人数による利点を最大限に生かし細やかな進路指導や生徒指導が行われ、進学先や就職先から大いに評価を頂いていると聞いています。後は、生徒自身がどうなりたいか何をするべきかですが、生徒たちが進む先には必ず目標や夢が存在します。自分が思い描く目標を言葉にする事、文字にする事から全てが始まり、その事自体はとても楽しい事だと感じます。入学式でも伝えましたが“自分が何をなすべきかを考えて実行し、そこにある多くの物事を捉え成長して欲しい、将来において体験する困難に知恵を絞り行動を起こして乗り越えて行くため・・・”この事を忘れず充実した高校生活を送ってほしいと思います。生徒たちが熱意を示せば寿都高校の先生方はしっかりと受け止め、援助を惜しまない事でしょう。

そうするとPTAとして何ができるかを考えてしまいますが、生徒たちと先生方が作り上げるフィールドは、それ自体が素晴らしいもので我々は外から見守る事で十分なのかもしれませんが、前役員で相談し、生徒会や各学年で活用できるようにノートパソコンやビデオカメラをPTAで購入し貸与という形で、生徒会を中心に学校祭や卒業記念などの映像作成や研修先での記録や発表に活用していただく事を考えています。学校祭への保護者協力を含め会員の皆様には、昨年度と変わらずPTA活動へのご協力とご支援をいただけますよう、心よりお願い申し上げます。



「歴史と伝統を誇る北海道寿都高等学校に着任して」

校 長 澤 田 慎 也

このたび、今年で創立 114 年目を迎えている歴史と伝統を誇る寿都高等学校に着任しました。本校は、明治 35 年に私立寿都実業女学校として創立されて以来、6,600 名を超える卒業生を送り出しているということから、保護者の方々にも本校 OB の方が多数いらっしゃるかと想像すると、改めて責任の重さを感じているところです。

着任してからの生徒たちの印象は、皆、明るく礼儀正しい態度で、毎日充実した高校生活を送っているように見えます。しかし、一人ひとり、人には言えないような様々な悩みや相談事を抱えている生徒もいるのではないのでしょうか。今後も小規模校という利点を活かし、生徒一人ひとりに先生方が真摯に向き合い、それぞれの夢や希望、進路実現に向けて、教職員一丸となって努力していく所存でございます。そのためには、保護者との連携、寿都町、そして地域の方々からの御理解、御協力をいただきながら、学校、家庭、地域が一体となって、学校経営、運営をしていくことが大切となります。

これからの本校における教育活動につきまして、特段の御理解と御協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

ようこそ寿都高校へ

新しく7名の教職員を迎え、新年度がスタートしました。

PTA 広報担当者から着任者の紹介をいたします。

澤田 慎也 校長先生（広尾高校から）

「意欲とスピード感をモットーに！」寿都高校に新しい風を吹き込むこと、間違いなし。

富永 学 教頭先生（清水高校から）

「旅行に関することは、おまかせください!？」教員になる前は、旅行会社の添乗員。

清原 薫 先生（苫小牧南高校から）

「生まれは、名寄市。寒いところの育ちです。」「寿都の強い風には驚きです。」

今野重義 先生（穂別高校から）

「趣味は、お菓子作りとビリヤード。」早速、ゆべつの湯の常連になりました。

清水 啓 先生（札幌厚別高校から）

「『啓』と書いて『ひろむ』と読みます。」生徒会担当者として、早速、行動開始！

遠藤宏輝 事務職員

「今春、教育大学旭川校を卒業したばかりです。」前向きな姿勢で好感度アップ！

圓山愛希子 臨時事務職員

「寿都高校の卒業生です。」生徒にとっては、お姉さんのような存在です。



お世話になりました。お元気で。

北村敏貴 校長先生：御退職（小樽市へ）

武部洋幸 先生：札幌西陵高校へ

宮越昭宏 主任主事：小樽桜陽高校へ

荏屋正人 教頭先生：白老東高校へ

大島 類 先生：岩見沢緑陵高校へ

木村有希 事務職員：御退職